

どこよりも子どもたちが 安心して暮らせる福岡市へ

福岡市議会議員(東区)

ついちほら 陽子 通信

子育て真っ最中
2児のママ議員

福岡市議会 教育子ども委員会 委員
板付基地返還促進協議会
一般社団法人 福岡大学 同窓会有信会 経済学部 代議員

● 福岡市の虐待相談は、5年連続で過去最多の3767件。ショートステイも増加。

厚生労働省は、全国に社会的に養護の必要な子どもたちが約4万2千人いると発表。

虐待相談件数は児童虐待防止法施行前の約18倍

全国の児童相談所における児童虐待に関する相談件数
平成11年度:11631件 → 約18倍 → 令和2年度:205044件

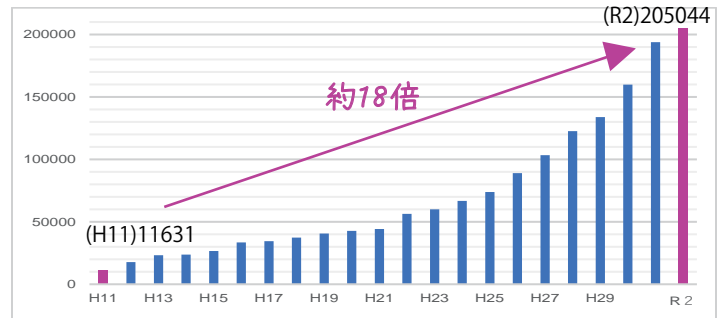
養護されている子どもの約6割は虐待を受けている。

福岡市でも、令和3年度に関係機関で相談を受け、虐待と判断して対応した件数は計3767件。

令和2年度より686件増え、5年連続で過去最多の状況。

1197名がショートステイ。令和元年度の約2倍。

令和3年度は、1197名を福岡市の3つの施設で一時保護。
令和元年度(571名)に比べて約2倍に増加。



全国の児童相談所における児童虐待に関する相談件数の推移
参考:厚生労働省「社会的教育の推進に向けて」令和4年3月31日

年度	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
子ども総合相談センター	1292	1908	2449	2637	2685
保健福祉センター(7区合計)	324	410	461	444	1082
合計	1616	2318	2910	3081	3767

福岡市の虐待相談対応件数(令和4年5月24時点)

● 福岡育児院を視察。「ショートステイ」の課題がみえてくる。

8月上旬、東区にある福岡育児院を見学させていただきました。この施設は、様々な理由で保護者と一緒に暮らすことができない子どもたちが、家庭に近い環境で安心して過ごせるよう支援を行っています。



	男	女	計
幼児	1(2)	0	1
小学生	4	8(10)	12
中学生	2	6	8
高校生	8	10	18
計	15	24	39

R4年8月8日時点での福岡育児院入所者数
※()内はR4年7月1日時点の入所者数

平成25年4月には、地域小規模施設を開設。敷地外の1軒屋で高学年の数名の子ども達が、一般家庭に近い生活をしながら家事や身の回りの暮らし方を身につけています。

低学年の子ども達の入所者数は減少

福岡市は、家庭の中で愛情を持って健やかに成長することを推奨し、里親制度に積極的に取り組んでいる。それにより、低学年の入所者数は減少傾向にある。

施設の児童定員:67名

入所者数:(7月)42名
(8月)39名

※令和4年度は8月までに5名が入所

ショートステイ(一時保護)不足?!

福岡育児院では、約3件に2件はショートステイの受け入れが困難。

- 令和3年度の虐待相談のうち、約2500件はショートステイ(一時保護)などではなく家庭内で対応。
- 現在、福岡育児院では約3件に2件はショートステイの受け入れが難しい状況。

ショートステイ不足が発生している可能性が考えられる。

今後、ショートステイ(一時保護)の調査・検討を行い、全ての子ども達が安心して暮らせる福岡市を目指し尽力してまいります。

魅力発信

海の中道海浜公園「光と風の広場」

日本初のPark-PFIによる国営公園

令和4年3月15日、福岡市東区の海の中道海浜公園に、パーク・ツーリズムをテーマにした滞在型施設が完成。これは、国土交通省九州地方整備局がPark-PFI制度を活用して公募し、民間事業者4者が選定され整備を進めてきたものです。

国内最大規模の
巨大アスレチックタワー



Park-PFIとは?

Park-PFIは独立採算が特徴。

PFIは施設整備が公共負担ですが、Park-PFIは独立採算が特徴です。

平成29年の都市公園法改正で設けられた新たな制度で、公園内施設の収益を公園整備に充当できるため、公共負担減につながるとされています。しかし、厳密なルールがPFIと比べ少なく、公園施設の建蔽率が緩和できるため、収益重視の大型施設を建設することも可能で、本来の公園の目的を損なうという懸念もあります。

公園は、子ども達や市民に心のゆとりをもたらします。福岡市でも、既に大濠公園などにこの制度が導入されています。しっかりと実績を調査し、魅力あるまちづくりを「推進」していきたいと考えています。

(上)シー・ドラグーン
(左下) INN THE PARK「球体テント」
(右下) INN THE PARK「球体テント」の室内



屋外施設の熱中症対策を!

熱中症警戒アラートという言葉をご存じでしょうか?

熱中症予防の指標として、令和3年から気象庁と環境省が全国的に運用を始めました。

福岡市は暑さ指数31以上(危険)が、令和2年:28回、令和3年:27回、発表されています。これは、外出を控え、外での運動は中止のレベルです。28以上(嚴重警戒)を含めると令和3年は74回。つまり、6月から8月にかけて子ども達は外で遊ぶことが難しい状況ということになります。

年々暑くなる日本、日よけ設置などによる公園の暑さ対策の検討が必要ではないでしょうか。



立憲民主党 連絡先 ついちはら 陽子 事務所

〒812-0061 福岡県福岡市東区筥松2丁目6-9-101
TEL:092-624-8777 FAX:092-624-8778
E-mail: info@yoko45.jp

ホームページ

ついちはら.com

https://ついちはら.com

